

24の講義内容 日本語の系統と成立

日本語と朝鮮語

日本語とアイヌ語

地続きで日本語と唯一接触していた言語がアイヌ語であり、そのアイヌ語の痕跡を日本の地名・人名に多く遺すのが北海道そして本州では東北地方北部に位置する。しかし、その他の言語生活語彙の記録類が皆無であることでその実態を見極めにくくしてきた。

現在、記録として伝わるアイヌ語は、多い順に A 「北海道方言」、B 「樺太方言」、C 「千島方言」の三つに区分されている。

日本語の「かみ【神】kami」をアイヌ語で A 「kamuy」 B 「kamuy」 C 「kamuy」という。古代日本語で「かみ」の「み」は、上代語乙類に属し、「mi」和二重母音の発音が想定される語である。

「かね【金】も A 「kani」 B 「kani」 C 「kani」。「こころ【心】も「koro」と表現する。

日本語とインドネシア語

言語年代学。

数理言語学。統計言語学。計量言語学。語彙統計学。

言語確率論。比較語彙論。

日本語の基礎語彙表と他諸国言語対照表

「数詞」「代名詞」「身体語」「植物語」「天象語」の基礎語彙

日本語の地名語彙「地名」は「ことばの宇宙」である

地名の連環は、日本語の源を知る上で重要な手がかりを伝えている。とりわけ、日本列島地図に全く記載されていない、微小な地名「蠟燭島」「ほとけ岩」「地獄谷」の見立て命名、「馬返し」「犬返し」といった動物も容易に立ちいることのできない難所の名にしている。また、山間に「上ノ貝」「下ノ貝」といった海洋生物の名を付けた地域がある。

あらゆる文化の終着地日本列島

南島海上経路「柳田国男『海上の道』参照」

1 台湾↓琉球ルート

↓薩摩半島

↓奄美大島↓日本列島南端

↓和歌山

↓小笠原諸島

漁撈狩猟民族：縄文文化を形成

2 中国江南ルート

稲作農耕民族〔前期古墳文化(三世紀末乃至四世紀初から五世紀末)〕：弥生文化。水牛飼育
3 朝鮮半島ルート↓對馬 ↓北九州
↓島根

騎馬武力民族〔後期古墳文化(五世紀末から七世紀末)〕：弥生文化。羊馬飼育

資料：中国書『魏志倭人伝』にみる所傳「倭人」は、「其の旧語を聞くに、自ら太伯たいはくの後と謂ふ」

大陸北海経路

日本語の語順と共通する諸言語

朝鮮語。アイヌ語。ツングース語。ツングース系満州語。蒙古語。「ウイグル自治区」言語。「チベット自治区」言語。ビルマ語。ギリヤーク語。

アルタイ語族⇨トルコ語。モンゴル語。ツングース系満州語。朝鮮語。日本語。

古代神話が伝える二種の神「天つ神」と「国つ神」

「天つ神」：新たに日本列島に降臨した神の集団〔出雲・筑紫〕

『古事記』に、「神武東征伝説」カムヤマトイワレビコノミコト〔神武天皇〕

「国つ神」：旧く日本列島に現住する神の集団

ハツクニシラススメラミコト 所知初国之御真木ミマキ天皇〔『古事記』

御肇国天皇〔『日本書紀』

初国所知美麻貴之天皇〔『常陸風土記』

「御真木」は、「御間城」、崇神天皇の「御間城入彦」という宮号で、韓国の古地名「任那加羅」の地名に連関している。

日本人の血液型「A」37.3〔西南〕「B」22.1〔東北〕「O」31.5〔太平洋諸島〕「AB」9.1